



内科・消化器内科 (内視鏡・エコー)
 完全予約制です 072-990-5820
 お電話は診察開始30分前から診察終了時刻まで
 お願いします。

最近、内科の勉強を少ししましたが、病名は知っていても、実際の患者さんを診ても診断できないだろうと思うような病気が多いです。やはり一生勉強しなければいけないと痛感しました。

先月、東京である方の生前葬に参列する機会がありました。 Deng熱で有名になった、会場近くの代々木公園に立ち寄ってみました。が、まだ立入禁止でした。 Deng熱の患者さんを診たことがないと思っ



ますが、もしかしたら誤診していたかもしれませんね。
 なお、その生前葬の様子は、10/19と10/26にNHK-BSで放送されます。

◎特別講師 黒沢 年雄氏
 「人生プラス思考」

第3回 八尾徳洲会総合病院
特別医療講演会
 テーマ 「がん治療に挑む」

医療講演1 「大腸がん治療における手術療法と化学療法」 外科部長 垣本 佳士
 医療講演2 「最新の肝臓がん治療」 肝臓外科部長 木村 拓也

＜第2部 14:25～16:00＞
 「人生プラス思考」 黒沢 年雄氏 (俳優)

シンポジウム
 「今後のがん治療の動向について」
 <司会・進行> 肝臓外科部長 木村 拓也
 <シンポジスト>
 黒沢 年雄氏
 天野 尚雄 先生 (大阪大学がんセンター がん臨床開発部長)
 多田 弘人 先生 (大阪府立がんセンター がん臨床開発部長)
 垣本 佳士 (外科部長)
 松岡 信子 (外科部長)

入場無料 粗品進呈

日時・会場
 平成26年10月18日③
 13:30～16:00 開場 12:30～
 八尾プリズムホール(大ホール) ※先着順 定員1500名

お問い合わせ先 医療法人 徳洲会 八尾徳洲会総合病院 総務課
 〒581-0011 八尾市若草町1番17号 TEL. 072-993-8501(代)

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前8時半～	胃カメラ・エコー						
午前9～12	診察		検査		診察		
12時～ 検査終了まで	胃カメラ・エコー ・大腸ファイバー						
午後5～7	診察		×		診察	×	

・毎月初回の受診時には、必ず「保険証」や「医療証」等をご持参下さい。
 ・お薬手帳・健診結果・紹介状等をお持ちになった場合は診察前に受付へお出しください。

#7119 救急医療相談窓口 (年中無休)
 一刻を争う場合は119番へ。

当院での会計では、クレジットカード・デビットカード (銀行等のキャッシュカード) ・ギフトカードをご利用頂けます。通常の買い物同様に、クレジットカードのポイントもつきます。

3か月先までの休診予定のお知らせです

10/4(土), 10/14(火) 午前診, 10/24(金) 夕診, 10/25(土)
11/19(水), 11/22(土), 11/26(水) 12/13(土) 12/30(火) 夕診～1/4(日)
は休診させていただきます。

ご迷惑をおかけしますが、ご了承下さい。随時追加・変更する場合がありますので、最新情報はメルマガ、ホームページ等でご確認ください。

メルマガ「きくメール」は、無料です。登録は、ホームページからできます。

- ホームページ <http://www.kikuchi-clinic.com/>
- (携帯) <http://kikuchi-clinic.msc.ms2.jp/>
- フェイスブック <https://www.facebook.com/kikuchinaika>
- ツイッター https://www.twitter.com/Kikuchi_Clinic

何科にかかりますか？

医療機関の看板等書かれている、診療科目名のことを「標榜（ひょうぼう）科目」といいます。当院は「内科・消化器科」です。

実は、平成20年4月以降の開業では「消化器科」は認められず、「消化器内科」でないといけません。それ以前に開業した当院は「経過措置」で「消化器科」のまま認められています。

では、科目名はいくつ標榜できるのでしょうか？ 厚生労働省の通知では「勤務する医師一人について、原則2つ以内とし、主たる診療科名を大きく表示することが望ましい」とされています。これには罰則はないので、3つ以上の科目名を掲げておられる医療機関も結構見ます。

開業時に地区の医師会から科目名を指導(?)されることもあります。私が開業した時には「2つまで」と指導されました。私より少し後に開業したI先生は、内科と歯科で開業されたのですが、内科と歯科で2つと数えられ、専門の循環器科を標榜できなかつたそうです。

内科・消化器内科

さて、本題に入りますが、当院のような「内科・消化器内科」なら「内科医であり、その中で特に消化器が専門なのだろう」とわかりやすいと思います。

胃腸科

紛らわしいものに「胃腸科」があります。「胃と腸」は診るが、「肝臓、胆のう、膵臓」は診ないのかということです。それは問い合わせせてみるしかありませんね。

肝臓内科

腎臓内科

最近、内科も細分化されてきています。学会も多くの専門分野に分かれてきています。標榜科目を「肝臓」「腎臓」など一つの臓器に絞っておられる医療機関もでてきています。

糖尿病内科

「糖尿病」など一つの疾患を標榜科目とすることもできます。

内科・外科

内科・泌尿器科

内科・整形外科

内科・眼科

難しいのは、一見全く違う科目が並んでいる場合です。

よくあるのは、親子で開業されていて、お父さんが内科で息子さんが整形外科だったり、ご主人が内科で奥さんが眼科というような場合です。看板や広告に連名で出ていればわかりますが・・・

一般的に、内科系と外科系の科目が並んでいる場合、通常は外科系の先生が多いです。内科医が外科、整形外科、泌尿器科などを名乗るのは、かなり経験と自信がないとできません。

私は「内科認定医」「消化器病専門医」「消化器内視鏡専門医」です。内科系と外科系の両方の専門医資格をお持ちの先生も、わずかにはおられますが、それは大変なことです。

内科・小児科・外科

あと、地域性もあると思います。田舎だと細かい科目よりも、何でも診てもらえるという安心感があるかもしれません。

整形外科と整骨院・接骨院

「整骨院でレントゲンを撮った」とか「接骨院で膝に注射をした」などと言われる患者さんがおられますが、完全に混同されています。医師ではない整骨院や接骨院でできる治療は限られており、ライバル関係でもありますので、絶対間違えないで下さい。

整形外科と形成外科

テレビで、美容整形のCMをよくやっているのですが、勘違いされている方が多いのですが、整形外科は骨や関節などを診る科で、美容に限らず火傷や皮膚の腫瘍など、外科的な皮膚の治療を行うのが形成外科です。（紙面が足りなくなりました、続きは後日。）

がんの話 (3) 肝がん (2)

まず、先月号の復習をしておきます。肝がんになるのを予防するのに一番重要なのは、B型肝炎、C型肝炎のウイルス検査（血液検査）です。もし肝炎ウイルスの感染がわかった場合には、最近進歩している**抗ウイルス薬**による治療をつよくお勧めします。もしこの治療が奏功すれば、肝炎から肝硬変への悪化を防ぎ、肝がんの発生をかなり減らすことができます。

血液検査で重要なのは、ALT (GPT) です。40以下が正常ですが、30が肝炎が進行するかどうかの境界と考えられています。抗ウイルス薬が適応にならない場合（ウイルス性ではない、高齢、肝機能がよくない等）には、**内服薬**や**注射薬**を投与し、できるだけALP (GPT) を30以下に保つようにします。特殊な治療ですが、当院で一人だけ、**瀉血**（しゃけつ：血液を抜く）治療を行った方があります。

肝がんの早期発見のためには、**画像診断**が重要です。肝機能検査がいくらよくても、がんができる可能性はあるからです。

当院でできる、唯一の検査が**エコー（超音波検査）**です（写真左上）。



B型肝炎、C型肝炎、その他の慢性肝炎、肝硬変とわかっている場合には、肝機能検査が正常であっても、できる限り半年に1回は受けて頂きたいです。

肝機能検査に異常がある場合は、できる限り3～4か月毎の検査をお勧めしています。

写真左下では、大きい矢印の先に黒く写る腫瘍があります。約3cmの肝がんです。この腫瘍の半分は肝臓の外に飛び出しています。この方は、腹水（細い矢印の部分）がある肝硬変なので、治療方法はかなり限られます。

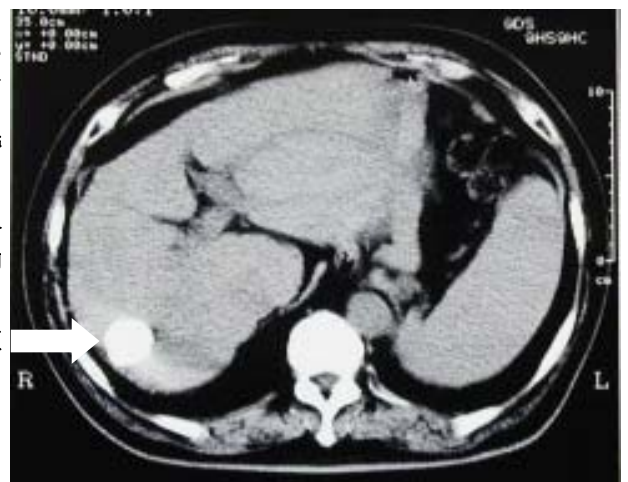
当院のエコー検査で、肝がんが疑われる場合、さらに精密検査として、**CT**や**MRI**が必要になります。結果によっては**血管造影**や**肝生検**（組織検査）が必要になります。これらは当院には設備がありませんので、病院を紹介して検査を受けて頂くことになります。

治療方法は、がんの大きさや個数、存在する場所、肝機能、年齢などによってかわります。**ラジオ波焼灼術**、**手術**、**肝動脈塞栓術**、**化学療法**などです。

写真右下は、肝がんの方のCT写真です。矢印の先に、約3cmの腫瘍があります。



白く写っているのは、造影剤と抗がん剤を混ぜたものを、カテーテルで注入する治療（肝動脈塞栓術）を行った後の写真のためです。



肺炎球菌ワクチンについて

高齢者の肺炎の多くは、肺炎球菌が原因です。

当院では、高齢者（65歳以上）に対して、肺炎球菌ワクチンの予防接種を以前から行っていますが、今月から、**八尾市が、接種費用の助成を始めました。**

接種料金（自己負担）：**2000円**

インフルエンザ予防接種と同様、市民税非課税世帯、生活保護受給者は免除されます。
（八尾市役所、八尾市保健センターでの事前の手続きが必要です）

※免除の受付は、10月15日からです。

対象者：**初めて接種を受ける方**（過去に接種を受けた方は対象外です）

- 対象年齢：平成26年度～30年度は、経過措置で、前年度の末日に64歳、69歳、74歳、79歳、84歳、89歳、94歳、99歳の方。平成26年度に限り、100歳以上の方。
（重要）経過措置終了後の平成31年度からは、65歳のみが対象となります。
- 60～64歳で、身体障害者手帳（心臓・腎臓・呼吸器・免疫不全で）1級の方も対象。

平成26年度（平成27年3月31日まで）の対象者	
65歳	昭和24年4月2日生～昭和25年4月1日生
70歳	昭和19年4月2日生～昭和20年4月1日生
75歳	昭和14年4月2日生～昭和15年4月1日生
80歳	昭和9年4月2日生～昭和10年4月1日生
85歳	昭和4年4月2日生～昭和5年4月1日生
90歳	大正13年4月2日生～大正14年4月1日生
95歳	大正8年4月2日生～大正9年4月1日生
100歳	大正3年4月2日生～大正4年4月1日生
101歳以上	大正3年4月1日以前生

今年度で66歳の方は、平成30年度に70歳で対象になります。

同様に67歳の方は平成29年度、68歳の方は平成28年度、69歳の方は平成27年度に助成を受けられます。

他の年齢の方も同様です。

（重要）今年度で65歳の方は、5年待って平成31年度に70歳で受けることはできません。（他の年齢の方も同様）

平成30年度までの、対象となる年度中に接種しないと、助成を受ける機会はありません。

接種は、**予約制です。**風邪やインフルエンザの流行する、冬季の接種はお勧めしていません。

時候のいい間の接種をお勧めします。一度接種すると、効果は5年間持続します。

インフルエンザの予防接種と同日に行うこともできます。（別に接種する場合は、1週間以上間をあける必要があります。）

八尾市公害認定患者さん	無料
脾臓摘出後の方	保険適用
慢性疾患でかかりつけの患者さん	6500円
慢性疾患以外でかかりつけの患者さん	7000円
上記以外の方	7500円

風しん予防接種の助成事業について

平成31年3月31日まで、八尾市が接種費用の助成をします。

対象者は、1. 妊娠を希望する女性、2. 妊娠を希望する女性の配偶者、3. 妊娠している女性の配偶者、に加えて「**風しん抗体が十分でない者**」が条件です。

過去5年以内の抗体検査結果（検査は助成対象ではなく、自費検査です）、八尾市民であることが証明できるもの、母子手帳などが必要です。詳しくは市政だよりをご覧ください。

インフルエンザの予防接種を開始します

新型・A香港型・B型の3種を混合したワクチンです。(水銀系防腐剤は不使用)

入荷次第、接種を開始しますが、65歳以上に対する八尾市の助成は10月15日(水)から来年1月31日(土)です。(期間外および2回目は65歳未満の方と同料金です)

すべての方に接種をお勧めしますが、特に**高齢の方、呼吸器疾患、循環器疾患、糖尿病で治療中の方**にはつよくお勧めします。また、デイ・サービス等に通われている方、高齢者や小さな子どもさんと同居されている方にもつよくお勧めします。受験生およびその同居家族の方にもつよくお勧めしています。

なお、関節リウマチなどの疾患で免疫抑制剤を投与されている方、抗がん剤の治療を受けておられる方などは、ワクチン接種が不適当な場合がありますので、主治医にご相談下さい。

ワクチンの有効期間は2週間後から約5か月間です。11月末までの接種をお勧めします。

予約制ですが、かかりつけの患者さんが、定期の予約診察時にお受けになる場合、予防接種の予約は不要です。それ以外の場合は、必ず予約をお願いします。

年齢	接種量	接種回数	接種間隔	
6か月以上 3歳未満	0.25 ml	2回	2～4週 (4週を推奨)	※かかりつけの患者さんとは、昨年10月から今回の接種日までの間に、慢性疾患で4か月以上あるいは慢性疾患以外で6か月以上受診された方です。(1か月に何度受診されても1回と数えます。)(最近、かかりつけになられた患者さんは、受診月数には配慮します。) ※慢性疾患とは、高血圧症、脂質異常症、糖尿病、脳梗塞、慢性肝炎、胃潰瘍、慢性胃炎、潰瘍性大腸炎などの生活習慣病、難病、ガンなどで「指導管理料」等を健康保険で算定している患者さんが対象です。
3歳以上 13歳未満				
13歳以上	0.5 ml	1回または2回	1～4週 (4週を推奨)	

接種料金	八尾市民の方		八尾市民以外の方
	生活保護の方 市民税非課税の方 公害認定患者さん	左記以外の方	(負担免除の方は、手続きをご確認下さい。)
年齢・免除対象			
65歳以上 および 60～64歳で、身体障害者 手帳(心臓・腎臓・呼吸器・ 免疫不全で)1級の方	無料	1000円	かかりつけの患者さんは 1000円 それ以外の方は、 下記2・3と同じです。
65歳未満	1. かかりつけの患者さんは、2000円(税込、以下同様) 2. 下記の方は、2500円 ・特定健診・大腸がん検診・肝炎ウイルス検診・ABC検診・内視鏡検査・超音波検査を当院で昨年10月から今回の接種日までに受けた方 ・昨シーズン、インフルエンザの予防接種を当院で受けた方 ・過去に肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチン、麻しん・風しんワクチンを当院で受けた方 3. 上記以外の方は、3000円		

※メールマガジン「きくメール」読者の方は、割引します。(助成で1000円の方を除く)
(割引額は、きくメールでお知らせします。)

八尾市の減免対象の方は、証明書が必要で、市役所あるいは保健センターでの手続きが事前に必要です。お問い合わせは、八尾市保健センター 電話993-8600へ。

「**きょうの健康**」 <http://www.nhk.or.jp/kenko/> (テキストが市販されています)
NHK教育テレビ (月) ~ (木) 午後8:30~8:45
 (再放送) 翌週 (月) ~ (木) 午後1:35~1:50
 「**先どり きょうの健康**」 **NHK総合テレビ** (金) 午前10:40~10:55
 (再放送) (土) 午前4:15~4:30
 (その週の月~木の4本の放送のうち1本が放送されます。)

金・土	月	火	水	木
9/26・27	9/29	9/30	1	2
先どり	うつ病が治らないあなたに			
うつ病	診断は正確か	薬の使い方は正しいか	考え方・ストレスに 対処	双極性障害の可能性
3・4	6	7	8	9
先どり	漢方 もっと知りたい			
漢方	どんなときに有効?	認知症の行動・心理症状	かぜ タイプ別治療	頭痛 タイプ別治療
10・11	13	14	15	16
先どり	遺伝子で変わる 乳がん最新治療			食で健康
乳がん	リスクに応じた 早期発見	手術と乳房再建	薬は個別化	きのこたっぷり リゾット
17・18	20	21	22	23
先どり	メディカルジャーナル	大人のとんかん治療	子どもの中耳炎	運動で健康
てんかん	再生医療で 肝硬変を治す			バランストレー ニングのすすめ
24・25	27	28	29	30
先どり	(アンコール) ひざの痛み 克服法			
ひざの痛み	予防するには	変形性ひざ関節症の治療	変形性ひざ関節症の 手術	スポーツ外傷

チョイス@病気になったとき

NHK教育テレビ 毎週土曜日 午後8:00~8:44
 (再放送) 翌週金曜日 午後1:05~1:49

- 10/4 心臓病 早期発見!
- 10/11 歯ぐきのトラブル
- 10/18 (アンコール) 食道がんをくい止める
- 10/25 まとめスペシャル あなどれない“かゆみ”

鳥越俊太郎 医療の現場! (日本医師会提供)

BS朝日 (BSデジタル5チャンネル) 毎週日曜日 午前10:00~10:30
 (再放送) 翌週土曜日 午後4:00~4:30

- 10/5 ぼやける! かすむ! まぶしい! ~高齢者の白内障~
- 10/12 くも膜下出血 ~突然死を防ぐ治療と予防~
- 10/19 最新 心臓カテーテル手術 ~高齢者の命を救う~
- 10/26 脳卒中のリハビリ ~患者を支えるしくみ~